

unit 8 形式主語の it

日本語には訳さないで、文のバランスをとるために使われる it について勉強するよ。このような it のことを「形式主語の it」と呼ぶよ。

It is . . . + to + 動詞の原形. 「～することは . . . だ」

ユニット 5 で習った不定詞の名詞用法を使って「1 時間でこの宿題を終えるのは大変だ。」と言ってみよう！

To finish this homework in one hour is hard.



ここ全部が主語にあたる部分



ちょっと頭でっかちの文だと思わない？ it を使ってすっきりとした言いかたに変えてみると . . .

It is hard to finish this homework in one hour.

「～すること」(不定詞の名詞用法)

ずいぶんとスッキリした主語になったね！

実は、この It は to finish this homework in one hour の部分を指す、仮の主語（形式的な主語）。本当の主語は to finish this homework in one hour ということだよ！

it = to finish the homework in one hour

※この使いかたをするとき、it は「それは」とは訳さないので、注意しよう！

It is . . . for A + to + 動詞の原形. 「～するのは A にとって . . . だ」

★for +人 を不定詞の前に入れることで、「だれにとって」 . . . なのか、ということをはっきりさせることができます！

「わたしにとってピアノを弾くことはむずかしいです。」を不定詞の名詞用法を使って言ってみます。

To play the piano is difficult for me.



これを、仮の主語 it を使って言ってみると . . .

It is difficult for me to play the piano.

仮の主語 it を使った文にすることで「わたしにとって」という言葉を強調することができるよ。

 暗唱してみよう！

以下の例文を書き写しましょう。書き写したら何度も読み上げて、暗唱できるようにしましょう。

1. “It is hard to read the book.”

その本を読むのは難しいです。

2. “It is hard for me to study English.”

英語を勉強することはわたしにとって難しいです。

3. “Is it fun to play baseball?”

野球をするのは楽しいですか？

“Yes, it is.”

はい、楽しいです。

4. “It was important for me to see him.”

彼に会うことはわたしにとって大事なことでした。

 作ってみよう！

形式主語「it」を使って文章を2つ作ってみましょう。

1 カッコに入るもっとも適当な単語・文章を選んで、数字をカッコに書きましょう。

A. “Can we practice volleyball from 6:00 in the morning?”
“Sorry, I can’t. It is difficult () me to get up so early.”

1 of 2 with 3 for 4 at

B. “Is it easy for you to play the piano?”
“Yes. ()”

1 He can play well. 2 It’s not so hard.
3 It’s difficult. 4 It was good.

C. “It is very () you to help me.”
“No problem.”

1 kind of 2 sort of 3 good at 4 a lot of

2 3つの単語には「仲間はずれ」がそれぞれ1つずつ入っています。その単語をカッコに書きましょう。

例 pen / notebook / pig (**pig**)

1. windy / rainy / forest ()

2. planet / important / moon ()

3. beach / field / fire ()

4. earthquake / first aid / tsunami ()

3

カッコ内の語を並び変えて日本語に合う英文を作りましょう。文の先頭は大文字に変えてください。

1. It [for / her / is / easy / speak / to] Chinese.

彼女にとって中国語を話すのは簡単です。

2. [dangerous / it / to / on / is / play] the road.

道路で遊ぶのは、危険です。

3. [is / to / read / it / books / fun] in English?

英語で本を読むのは楽しいですか。

4

英語にしましょう。文の先頭は大文字に変えてください。

B

C

A

1. わたしにとって 歌うのは 楽しい。 (下のヒントをみてね)

2. 彼にとって 勉強するのは 難しい。

3. 彼女にとって 英語を話すのは 簡単だ。

ヒント 全部 It is A for B to C. の形で作れるよ。

↓

B にとって C するのは A だ

Focus part 3

★よく使う前置詞

前置詞とは「名詞の前に置いて場所や時、位置などの意味を補う」言葉です。

<前置詞+名詞>のセットで使って、名詞（人・物の名前）に特定の意味を付け足します。

*その他の前置詞は Review を見てね！

前置詞	イメージと意味	例文
above	「空間の上にある」 ～の上に	A big bird is flying above the tree. 大きな鳥が木の上を飛んでいる。
along	「～に沿って」 ～沿いに	I walked along the river. ぼくは川に沿って歩いた。
among	「複数のものに囲まれて」 ～の間に、～の中で	She was sitting among the boys. 彼女は、男の子たちの間に座っていた。 Baseball is popular among Japanese boys. 野球は日本の少年たちの間で人気がある。
between	「2つの物の間に」 ～の間に、～の中間で	The post office is between the flower shop and the bookstore. 郵便局は、花屋さんと本屋さんの間にある。
behind	「何かの後ろに隠れている」 後ろに、遅れて	There is a cat behind my car. わたしの車の後ろにネコがいる。 The train is ten minutes behind. 電車は10分遅れている。
beside	「横にいる」 ～のそばに	The old man sat beside me. 老人がわたしのとなりに座った。
through	「空間を突き抜ける」 ～を通して、～を通り過ぎて	The water runs through the pipe. 水は、そのパイプを通して流れる。
toward	「何かに向かって」 ～の方へ	A dog came toward me. 犬がわたしの方にやってきた。
across	「平面を横切って」 ～を横切って、～を渡って	I swam across the river. わたしは川を泳いで渡った。

★会話文 part2

A: How have you been?

どうしていましたか？

B: I've been doing well.

元気にしていましたよ。



A: Can you do me a favor? I want you to call a taxi.

お願いがあるんだけど。タクシーを呼んでくれるかな。

B: Sure.

いいよ、もちろん。

A: What time should we go to the station?

何時に駅に行けばいいだろう？

B: It's up to you.

あなた次第だよ。



A: What is happening over there?

向こうで何が起きているの？

B: I have no idea.

さあ、分からないなあ。

●自分の事について伝える表現<何か調子が悪いとき>

Something is wrong with my smart phone.

ぼくのスマートフォン、なんかおかしいんだ。

Something is wrong with my stomach.

ぼくのおなか、なんか変なんだ。

